



聞こえ  
なくても  
大丈夫!



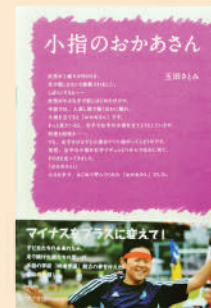
Bilingual Bicultural Education Center  
for Deaf Children

特定非営利活動法人  
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター



Bilingual Bicultural Education Center  
for Deaf Children

おすすめ図書



小指のおかあさん  
玉田さとみ著  
ポプラ社 2011年



シリーズ  
多文化・多言語主義の現在 5  
ろう者から見た「多文化共生」  
もうひとつの言語的マイノリティ  
佐々木倫子 編  
ココ出版 2012年

特定非営利活動法人  
バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター

〒143-0016 東京都大田区大森北1-30-1三喜屋ビル2階  
ホームページ:<http://www.bbед.org/> e-mail:[info@bbед.org](mailto:info@bbед.org) Tel/Fax.03-5767-5057

# 聞こえない・聞こえにくい お子さんの お父さん、お母さんへ



お子さんの子育てや教育について、お医者さんや学校の先生からいろいろな情報を受けていることと思います。その中で、「手話（日本手話と日本語対応手話）」「や」「バイリンガルろう教育」「ろう者の生活」「コミュニケーション」「や」「ろう文化（アイデンティティ）」の説明はありましたか。それは、「人工内耳」や「補聴器」、「ことばの訓練」の情報と同じくらい専門的で詳しいものだったでしょうか。

お子さんの育て方を決めるのはご両親です。どんな方法を選択する場合でも、十分な情報の中から、お子さんの将来につながる方法を見つけて欲しいと思います。

この冊子では、「聞こえにくいお子さんをもつ親御さん」のためのファミリー講座（全4回）から、「人工内耳の注重点」や「ろう教育の現状」、「バイリンガルろう教育」、「聞こえにくいお母さんからのメッセージ」の一部をご紹介します。いずれも、従来のインフォームドコンセントでは親御さんに伝わりにくい、伝えられない情報です。子育てや教育を考えると、ぜひ参考にしてみてください。

編集人 玉田さとみ

聞こえない・聞こえにくいお子さんのお父さん、お母さんへ	1
田中美郷先生に聞こう！人工内耳あれこれ	3
長谷部倫子先生に聞こう！手話教育の基礎知識と最新情報	5
越野先生に聞こう！ろう児の家庭教育と音声不要の英語教育	8
デブママに聞こう！	12
BEBEの紹介	14



## 田中美郷先生に聞こう！ 人工内耳あれこれ

人工内耳への期待や疑問など、日本の聴覚障がい児療育をリードしてきた  
田中美郷教育研究所所長の田中美郷先生  
にお話しを伺います。

田中 近年、難聴と診断されたお子さんに対する人工内耳が注目されているところですが、そこには少なからず問題があります。今日はそのことをお話ししようと思います。まず、補聴器と人工内耳のどこが違うのか？から入っていきます。資料では、人工内耳を英語の頭文字をとってC-Iと書いています。

人工内耳は、誤解されているところがあります。耳鼻科の若い医師などが「難聴は治りますよ」と言うことがある。それは間違いです、治りません。人工内耳は難聴を治す方法ではありません。「リハビリテーが役立たない子どもで劇的な効果をもたらす子もいますが全てではありません。難聴の原因自体が十分解明されていませんから、個人差に関する研究も遅れているのが現状です。

人工内耳によって発音が良くなると、周囲が難聴児だと気づかず、配慮がなくなりコミュニケーションがとりにくいという事も起きます。特に集団の中で会話を聞き取ることは一般に困難です。話ができるようになることだけを求めて人工内耳を着けると、結果的に教育面で子どもたちを犠牲にしてしまうこともあります。親御さんは気を付けて欲しいですね。

医者には「人工内耳をすれば苦労しなくすみます」と言う人もいるようですが、人工内耳が良いといっても、そんな楽観的な物ではない。どの道を選ぶにしても、難聴者としての教育をきちんとしないと言語力はつきません。

人工内耳は歴史が浅いので、これから想定外の問題がいろいろと出てくると思います。人工内耳装用児に対処できる専門家を育てる仕組みやアフタケアも確立していない。

ション」や「療育」という言葉が使われますが、人工内耳も補聴器も子どもの場に立てば同じものなのです。最初にそれを強調しておきます。使う装置は違いますが、教育の立場に立てば同じだということ。これをいじ加減に捉えていると、子どもさんは伸び悩んでしまいます。

耳の構造は、外耳、鼓膜、中耳、内耳からなっていて、内耳のかたつむりのようなところに音を感じる装置があります。蝸牛の中には膜があり有毛細胞という何万もの毛の生えた細胞があり、これが音を精密に分析する上で重要な構造です。感音難聴は有毛細胞の数が少なく、毛の抜け方などにより音の分析能力が低下するといふものです（資料1）。有毛細胞はいろいろな音の特徴を分析して脳に伝えますが、補聴器は音を大きくするだけなので感音難聴に対して効果があまりないことがあります。そのような場合には人工内耳が効果を発揮します。

人工内耳には細い電線を束にして作られた電極があります。「あ」「い」などの母音は、構成している周波数帯域の相対関係が違いますので、その特徴をコンピュータで処理

**Q. 最初に相談した耳鼻科の医院が手話に否定的で嫌な思いをしました。**

田中／インフォームドコンセントの問題だと思えます。医者の考え方を一方的に患者さんに押しつけるのではなく、いろんな選択肢をきちんと説明して、子どもの成長の見通しを立てることが重要です。医者の多くは手話について偏見はあっても、深い知識を持っていない。聴覚だけにとらわった見方が一方的になってはいけません。

**Q. 神尾記念病院では、何割くらいの方が人工内耳を選択していますか？**

田中／人工内耳を考えて相談に来るケースが月に1例くらい。それほど多いわけではありません。いろんな情報提供をして、その中の1つとして人工内耳を説明します。中には、行き詰まって人工内耳を選択する方もいますが、「とにかく早くうちへ」というやり方には反対です。

**Q. 公表されている人工内耳手術の失敗率はとても低いのですか。**

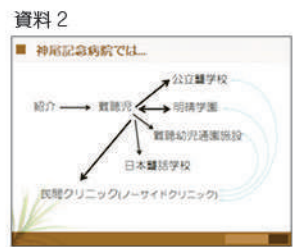
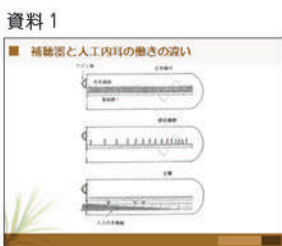
田中／今は昔より技術も性能も良くなっています。ただし、これからは経験したことのない問題が出てくる可能性があること

して電極を使い分け「あ」と神経を刺激します。ただし、人工的に情報を伝えるもので健康な内耳に代わるような細かな対応はできません。人工内耳も補聴器も学習によって聴き取る能力が発達していくという点で同じことなのです。

京都大学では細胞の再生医療の研究が行われています。難聴を治すという意味では再生医療の方がそれに近いといえるわけです。最近では補聴器の性能も良くなりました。補聴器が役立つならそれを利用すれば良いと思います。90dB以上で補聴器が役に立たない場合、年齢が1歳半以上であれば人工内耳を考えます。

人工内耳も補聴器も耳自体の働きを変えらるのではなく、訓練によって脳における聞く力を育てていくものです。入ってくる情報はそれぞれ違った形でも脳が言葉を覚える過程で情報を処理し聞き取る能力を脳自身が開拓していく。脳の中のことばの辞書を作るわけです。そうした時間が必要なので人工内耳を早くした方がいいというのは理論的には間違っています。

手術をするという観点から90dB以下は勧めません。結果はいろいろですが、補聴器思っています。子どもの先々の人生を考えた場合、人工内耳は異物ですから、問題が全く生じないとは考え難いのです。



田中美郷（たなか よしなり）  
田中美郷教育研究所所長 耳鼻咽喉科医師  
帝京大学名誉教授 大阪保健医療大学大学院教授



### 長谷部倫子先生に聞こう！ 手話教育の基礎知識と 最新情報

日本で唯一、日本手話と書記日本語（読み書き）という二言語でバイリンガルろう教育を実践している私立ちろう学校明晴学園の長谷部倫子教頭先生にお話しを伺います。

長谷部／今日は、「ろう児の教育の最新事情」と誤解されていることが多い「バイリンガル教育」についてお話ししたいと思います。

#### ろう児の教育の最新事情

おおまかに言って、親御さんは2つの大きな選択をせまられることになってきたようです。人工内耳を装着して聞こえる子の学校に行くか、ろう学校に行くか。日本のろう学校では、幼稚園から専攻科に通っている子どもの数およそ6000人のうち、

然に身につくものが「獲得」。勉強して覚えることが「習得」です。聞こえる子どもが自然に音声言語を獲得していくように、聞こえない子は日本手話の環境の中で自然に獲得していきます。だからお母さんが手話教室に通って手話を学んで、家で教えても子どもは手話を獲得できなかったことになりません。聞こえない子の集団や聞こえない大人の中で一緒に遊んだり話したりしながら獲得していくものなのです。

聞こえる人は手話を単語から覚えようとはしますが、聞こえない子どもたちは最初に文法から学びます。最初はイース、ノーです。「これやるの」と聞いたとき、眉毛を動かして、相手の目をじっと見る。これで、ろうの人同士はイースかノーかわかります。この文法をNMM（非手指動作）といいます。手の動き（単語）を覚えるのはその後です。聞こえる人には難しいといわれる「C」(モノ)の形が動きを表現する(も、ろうの子たちは得意です)。

#### バイカルチュラル（ろう文化と聴文化の獲得）

子どもたちは、ここで言葉を覚えるだけではありません。ろうの人の話し方、目の

1185人が人工内耳をつけているそうです。最も多いのは幼稚部の子どもたちです。成人ろう者が、ある集会で人工内耳をつけている高校生に「人工内耳をどう思うか？」と聞いたところ、みんなが「知らない間につけられた」と答えたそうです。生徒たちは人工内耳が嫌だと思っけていても、聞こえている先生にとっては「コミュニケーションがスムーズになるので都合が良い。そこには当事者の意思はないということを感じておいて下さい。」

最近では、手話を導入しているというろう学校が増えましたが、それはトータル・コミュニケーションというものでバイリンガル教育とは大きく違います。

トータル・コミュニケーションは、「一人ひとりの子どもにあったコミュニケーション方法を使う」というもので、人工内耳を使ってしゃべる子には音声、手話がわかる子には手話。一見、みんなが幸せになる方法みたいですが、結局、先生は日本語を話しながら手を動かすだけ。日本語対応手話です。

アメリカでは、1988年に「トータル・コミュニケーションによる教育成果」の大会合わせ方、話者の交替、タイミングなど、聞こえる人とは違うろう者の生活習慣や価値観、文化を覚えていきます。

大人になって手話を学んだ人や、インテグレーションしていた人は、タイミングや立ち振る舞いが違うとろう者から聞くことがあります。例えば、話の途中で割って入り雰囲気壊すなど、トラブルがよくあるというのです。これは言語と文化が切り離せないことを物語っているのだと思います。手話教育に一番大切なのは、自分の基となる母語と文化です。自分がろうであることに自信を持つこと。その土台がしっかりしていれば、そのうえに日本語、英語やフランス語など、いろんな言葉を学んだり、理科・社会・算数という教科を学ぶことができます。しかし、自分が何者かという自信を持ってないと、土台を踏み固めることができません。

#### Q. 明晴学園の子どもたちの学力はどうですか？

長谷部／何をもって学力かという点と難しいですが、率直に言って「学力は高いです」(笑)  
去年、3、4年生を教えていたのですが

規模な調査が行われ、全米ろう教育審議会は議会と大統領に「とつてい受け入れがたい状況にある」と報告しました。手話も日本語も両方身につくと思っけていても、結果的に両方とも中途半端になり、自分の言語をもてないダブルリミテッドになってしまふ危険性があるのです。

#### バイリンガルろう教育

「聞こえない子をどう育てるか？」ろう教育界では何度も議論されてきましたが、学ぶ本人がどのような教育を望み、何を必要としているか。当事者性を尊重してはじまったのがバイリンガル教育です。

トータル・コミュニケーションを含めた従来のろう教育の目標は「日本語獲得」でした。それは、日本語を話したり、読んだり書いたりすることです。一方、バイリンガルろう教育の目標は聞こえる子どもの教育と同じです。話すだけでなく、情緒や感性を育て、国語や算数などの教科を学び、人間的に社会に参画できる大人になる子どもを育てる。それが手話教育の目的です。

具体的には、日本手話を第一言語として獲得し、日本語の読み書きを第二言語として習得します。獲得と習得は違います。自理科の教科書は1年かからずにはできました。私は理科が苦手なのですが、手話は3Dの言語なので、空間を利用して「先生こういうこと。」と理解するし、子どもたちは本を読みます。書くことはあまり得意じゃない子どもちゃんと読めます。

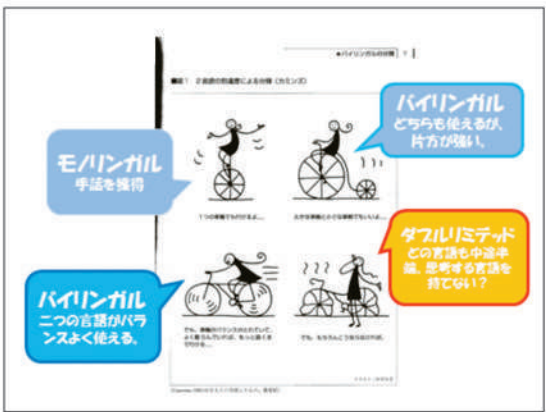
中学部の数学の先生から聞いた話ですが、方程式「 $ax + y$ 」を教えようとする、そもそも方程式とはなんだ、何の役に立つのか、最初に方程式を発見したのは誰だ？という質問が出て、各自で調べることになったそうです。本来の勉強とはそういうことなのだと思えます。ただし、形に残るのは紙に書かれた日本語ですね。その日本語は少し不思議な、外国語みたいな日本語になる。第一言語ですから。それを見て「勉強ができない」と思うのは短絡的だと思えます。

#### Q. 明晴学園の日本語の授業ではどんなことをしていますか？

長谷部／小学校5、6年生の夏休みの宿題に「不思議なことを発見したら写真を撮って説明文と一緒に先生にメールする」というのがありました。夏休みが終わるとそれを使ってポトフォリオを作り、更に作文を書きま



した。書きあがった作文をみんなで回し読みして、それぞれが付箋紙を使ってコメントをつけるのですが、作文が見えなくなるくらいコメントが貼られました。そのやりとりを続けて、どんどん書き替えていくと、出来上がった文章は、「〇〇をしました。おもしろかったです。楽しかったです。」という形だけの文章ではなくて、生き生きとした書くことの楽しさが伝わってくる文章になります。どの子ども私感動するくらいステキな作文を書いてくれました。



- ①モノリンガル 1つの言語しかもっていない。ろうの場合は手話。考える力や集中する力があれば前に進める。
- ②バイリンガル これが一番多い。日本語が強く手話が弱い。または手話が強く日本語が不得意。進むことはできる。
- ③バランスバイリンガル 理想的なバイリンガル。日本語と英語、手話と日本語など2つの言語が同じように流暢に使える。
- ④ダブルリミテッド 両方とも中途半端。トータル・コミュニケーションが抱える危険性です。言語の力が弱いと考える力も弱くなる。与えられた仕事はできるが、自分で考えて仕事ができない。意見が言えない。トラブルがあると投げ出す。

第3回

聞こえにくいお子さんをもつ親御さんのためのファミリー講座

越野先生に聞こう！  
ろう児の家庭教育と  
音声不要の英語教育

ろう児の特性を活かした学習について、明晴学園の英語講師・岡先生のヒデオ講座をもとに、進学塾の講師でありろう児のお父さんでもある越野先生にお話しを伺います。

(ヒデオ講座)

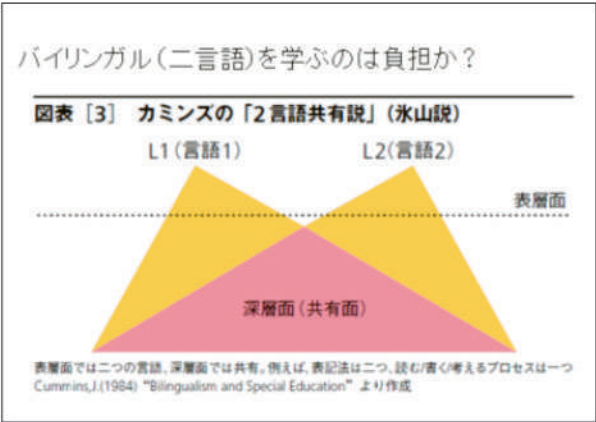
岡ノみなさんこんにちは。明晴学園の岡と申します。きょうは明晴学園の書記英語に特化した「音声を使わない英語教育」というお話をしたいと思います。

私どもの英語教育の目標は2つあります。1つめが、一般の高校入試に合格できる力(ちから)をつけること。志望する高校の入試を突破できる力、さらには大学の入学試験につながる英語力を身に付けて明晴学園を出てほしいという気持ちがあります。

2つめは、実際に使える英語を身に着けるといことです。例えば、海外旅行に行つたとき、航空会社のカウンターやホテルで、あるいは道に迷つたとき、レストランで注文するとき、彼らが実際に使える英語は「筆談」です。筆談でスムーズに情報を得ることができ、自分が言いたいことが相手に伝わる、そういう英語力を明晴学園では目指しています。

明晴学園のバイリンガル教育では、すべての教科の教授言語が日本語です。国語という科目については、言語の4技能(話す・聞く・読む・書く)のうち、「話す・聞く」は日本語、「読み・書き」は日本語となっています。ですから明晴学園には、日本語という教科と日本語という教科があります。英語も教授言語は日本語です。現時点では、ASLやIS(国際手話)など外国の手話は使用していません。

明晴学園の英語教育では、カタカナはぶりません。理由は、英語の正しい発音の口型とカタカナ書きした日本語の口型はまるで異なるからです。つまり英単語にカタカナをふつても英語の口型の読み取りの役には立たず、逆に混乱します。しかし「発音のルール」は知っているを得ることがあ



バイリンガル教育は「手話と日本語の両方を学ぶので負担がある」と言われることがあるが、「子どもが2つ以上の言語を持つことは負にはならず、むしろ2つの言語の比較をしながら興味や関心を深めるのでプラスになる」というのがバイリンガル教育の研究者らの定説になっている。



長谷部倫子(はせべともこ)

金沢大学教育学部言語障害児教育教員養成課程卒業。桜美林大学大学院日本語教育専攻修了。校長明晴学園教頭、社会事業大学非常勤講師。

るので勉強します。

例えば「sakei」「takei」。ローマ字を知っていると「take」とか「sake」と読んでしまつていますが、英語の語末の「e」は読まないことが多いです。この読まない語末の「e」は、ある仕事、をしています。それは、その単語のもつ1つ前の母音を元の音に戻してやるという仕事です。元の音とはアルファベットの元々の読み方のこと。「name」「make」「bake」などがそうです。そのルールは「al」だけ働くわけではなく、「i」でも同じように働きます。「i」の元の音は「ai」です。この「i」は、語末に「el」が付くと、自分本来の音に戻っていく。だから「ikei」「bikei」「mikei」の「i」は「ai」とよばれる。

このようにすることは「なるほど、ルールなんだ」と思えば、簡単に理解できることなので、1年のうちに何回か発音の仕組み、あるいは発音の規則を学ぶ機会を作っています。

次の特徴は日本語との連携です。明晴学園の場合は、国語ではなく日本語という教科があります。日本語という言語は第二言語として学習します。ここでは、第三言語になる英語で進行形を導入する場合を考え



てみます。進行形というのは「am / was studying」なのです。それを導入するときには、日本語の「〜ている」「形と〜ていた」形がしっかり入っているかどうかを日本語の先生に確認します。

自動詞や他動詞や他のときも同じで、英語を教えるときに日本語を復習する。あるいは英語と日本語のこの部分は構造が似ているというように考えます。日本語と英語の両方を使うことでお互いが強化され、互いに伸びていくようになります。

最後に英単語にカタカナを振らないことについてですが、例えば「this」は「シス」でも「テイス」でもありません。カタカナはどちらも適切ではない。さきほどの課題の「dress」が、「dress」や「ドレス」では、口型（こうけい）もずいぶん違います。「dress」を見て「ドレス」というカタカナが書けたところで、あまり意味がない。それなら発音記号を見たほうが早い。覚えなくても見ればわかるので、確認することはいろいろとできます。

手話の単語だけ知っていても手話は読み取れません。英語も同じです。学習者は単語ばかり一生懸命に覚えようとしていますが、その単語の連なりである文が読めない。そ

で、緊急避難的にカタカナを使います。読み方がわかってくると、英文で書いているものにカタカナをつける作業自体が意味ないので、できるだけそういうことをしないほうが良いと避けるように指導をしています。

日本のろう学校では英語に日本語の指文字やカタカナを使用しています。なぜカタカナをろう学校で使うのか。たぶん、全く勉強についていけない子ども、英語の授業で何をしているのか全くわからない子がいるからでしょう。だから並んでいる英文の横にカタカナを書いていく。カタカナなら読めますから。

すると、子どもは英語を全く抜きにしてカタカナを追いかける。カタカナだけなら読めるので、わけがわからないという辛い思いをこの時間はしなくて済む。そして教えるほうは、教えた気になれる。指導法として良いか悪いかというよりも、たぶんお互いに辛い思いをしなないための便宜的な方法なのではないかという気がします。

次に家庭学習に関してですが、私は自分が教えた生徒さんが、お父さんやお母さんに教わることも嫌です。なので、私は自分の娘には勉強を教えていません。基本的には先生に任せます。

の理由の1つは文法知識が欠落しているからです。文法を手がかりに文の構造を見ると文が読めるようになるし、書けるようになります。

※中学3年生5名のうち2名が夏の英語検定で準2級と3級1次に合格、秋には2名が4級合格。(英検4級は中学2年生の英語を習得しているというレベル)

※岡先生のビデオ講座(全40分間)はROBFD公式サイトで動画と原稿で見ることができます。



岡典栄(おかのりえ)

東京大学文学部言語学科卒業。ケンブリッジ大学修士(MPhil)言語学。国立障害者リハビリテーションセンター学院卒業。手話通訳士。一橋大学大学院言語社会研究科修士、博士(学術)。明晴学園国際部長・英語科教諭。東京経済大学非常勤講師。

親御さんが、子どもにも働きかけた量が多い方が、子どもが伸びるといえることは言えます。どういふ風にすれば失敗しないかというところ、子どもから質問されたときには「私はどう思うか」とサンプルを提示して、「はい、話してくださいです。」とんことを教えてもらったの?」とか「お母さんに教えてもらえるかな?」と聞いてあげてください。そのときに大切なのは、教え方に関してや子どもの言っていることを批判しないことです。そこでは否定的な態度を取らない、子どもの話を聞くという姿勢でいけば失敗はしないと思います。

また、家では何時から何時は勉強する、という習慣は大切ですね。勉強しなきゃいけないとわかっていて「体が動かない」とか、「どうしても机に向かえない」というお子さんがいます。そうならないように机に向かう習慣をつける。それは家庭でしかできません。

時間を確保するのと同時に量をマネジメントする方法もあります。勉強量ですね。本人が興味あることを、量的に補完してあげる。ただし、内容に関して、親が教えようとする学校でやっていることや先生の意図を無駄にしまつ場合があるので注

越野/明晴学園の英語教育は全く新しいことへの挑戦だと思えました。英検の結果はすばらしいです。公立ろう学校でこういう結果が出ているところは、たぶんないでしょう。

一般的に教育問題に関しては、ありとあらゆる人が評論家のように話をします。政治や経済は、専門家以外の人は評論家のような話し方はしませんが、教育問題だけはなぜか、自分の経験を元に、それが正しいという前提で語りがちです。逆にいうと、経験をしていないことは正当に評価できず理解しようとしなないことは、教育現場でもよくあることです。明晴学園の挑戦していることを、先入観を持たずに評価することが必要です。

明晴学園の英語教育で、最初にしっかりとしていると思ったのは、岡先生が目標を設定されていることです。目標に対して、それに対して最も合った方法を選び、結果を点検している。読み取り能力や試験対応能力などがついていっていることが、その場面からも解ります。

カタカナ英語に関して言うと、聞こえる子どもの場合、中学1年の1学期まではどんなふうに音声として出すのかわからないの意が必要です。

家で宿題をやることは当たり前ですが、親御さんがそれを見て、子どもの間違えを消さないことも大切です。間違えた跡が残っていないと、教える側はその子がどこでつまづいているのかわからなくて、教え損ねてしまいます。

**Q. 日本語の勉強にも、音声不要の教育という方法があてはまるのでしょうか?**

越野/ろう児の場合、音声と書記言語のセットが同時にインプットされるといえるとは考えられないので、岡先生がやろうとしている書記言語だけを発達させていく勉強の仕方が、第二言語である日本語の習得方法としても、類似するのではないかと思っています。

**Q. 明晴学園は日本語の獲得が遅れているという声を聞くことがありますが?**

越野/私には「遅れる」というイメージはありません。日本手話という第一言語に対して、書記言語としての日本語は同時ではなく後からついて来るものです。物事を



判断したり考えたりする言語は日本語を使うのが適切です。

日本語では多様な豊かな表現ができる、書記日本語（読み書き）では少ない語彙で、その多様な表現に最初に対応させる。しかし、書記日本語の部分の抽象度が上がってくることによって、日本語の言語レベルに近づいていく。そういう形で、バイリンガルとして成長していくのだろうと思っています。

ですから狭い範囲の言葉で表現したり、正しい、美しい日本語じゃなくても、最初は全然構わないと思います。それよりも、表現したいという子どもの気持ちが重要です。明晴学園の日本語の授業を、型を教える日本語教師が指導しているというのは大変興味深いですね。



越野公爾（ごのこうじ）

早稲田大学第一文学部卒業。首都圏で教室展開する進学塾で25年専任講師を務める。ろう児の父。現在、介護系企業の株式会社シルバーネスト専務取締役。

第4回

聞こえにくいお子さんをもつ親御さんのためのファミリー講座

デファミマに聞こう!

ろう児をもつ4名のろうのお母さんに、それぞれの生い立ちから現在に至るまで、

また、お子さんの教育についてなど伺います。

※家族全員がろう者のことを「デファミマリー」といいます。

岡田 のり子さん

（ご主人と2人の男の子のデファミマリー）

私は山形で生まれました。私の両親と弟は聴者。ろう者は私だけです。コミュニケーションは口話だったので、家族との楽しい会話は記憶にありません。デファミマリーが笑いながら話しているのを見て羨ましかったことを覚えています。2歳から中学3年まで地元のろう学校に通いました。口話教育が厳しい学校で、先生だけでなく同級生との会話も口話だったので通じないことがよくありました。高校は北海道高等ろう学校に進学し、寄宿舎で手話に出会い



ました。私は海が大好きです。海の中では音は無意味なもので、声で話すこともなく、それがろう者の世界に似ているようでとても落ち着きます。

松尾 美幸さん

（ご主人と男児の3人家族、デファミマリー）

広島から息子の教育のために東京に引越してきました。私は小学部4年生まで広島ろう学校に通っていましたが、その後、先生と両親が決めた一般校にインテグレーションしました。一般校は情報が多いという意味では良いかも知れませんが、人間関係で苦しみました。私の両親もろう者です。父は歴史と釣りが大好きでアルコールが入ると演説が始まります。母は花が大好きな

普通の家族です。結婚相手については、ろう者とか聴者とか考えてませんでした。でもケンカのと看につい自分の言葉が出てしまい、私は手話、彼は日本語と。以来、同じ言葉の人が良いと思うようになり、ろう者の主人と結婚しました。

森永 慶子さん

（ろう者のご主人、聴児の長女とろう児の二女の4人家族）

私は熊本出身です。両親は聴者です。小学1年生までは熊本ろう学校に通いましたが、2年生に進級するときに、地元の小学に1年遅れの新入生としてインテグレーションしました。コミュニケーション手段は筆談や口話でしたが、通じないために先生に怒られたり、いじめを受けたこともあります。筑波大学附属ろう学校の高等部に進学した後、自分は「ろう者」なのか「聴者」なのか?どちらの世界に所属しているかと悩みました。短大時代に行ったアメリカで、現地のろう者から「あなたにとってもう?とは何ですか?」と聞かれ答えられず、それをきっかけに「ろう者のアイデンティティ」に目覚めました。







## Bilingual Bicultural Education Center for Deaf Children

特定非営利活動法人バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センターでは、ろう児を日本手話と書記日本語（読み書き）のバイリンガル（2言語）に育てることを推奨しています。また、「聞こえない人」という従来のマイナスの捉え方ではなく、「手話で話す目の人」というプラスの価値観を社会に広め、ろう児が聴児と同じように力を発揮し、その力が正しく評価される社会づくりをめざしています。



### BBEDの活動の一部をご紹介します。

#### 日本手話の学びを支援する活動

##### ●お子さんの日本手話教材

乳児さんにはCL絵本「ボール」の貸し出しを行っています。（IBBY 障害児図書資料センター 2011年度推薦図書の国内推薦図書）幼稚園のお子さん向け「日本手話DVD のつと君と絵本を楽しもう!」を貸し出しています。詳しくはBBED公式サイトのトップページ「ろう教育についてもっと詳しく知りたい!!!」からご覧ください。

##### ●日本手話の動画を配信

一日も早くお子さんと日本手話で話したいお母さんには「ボランディアのための日本手話」。理論で日本手話を理解したいお父さんには「おとうさん、おかあさんのため手話文法講座」がおすすめです。iPhoneアプリ「実用!日本手話」で通勤途中に日本手話会話も学べます。

##### ●日本手話を語学として学ぶ

「文法を基礎から学ぶ日本手話のしくみ」（大修館書店）を出版しました。本の中に登場する日本手話の例文は、スマホやパソコンを使ってYouTubeで見ることができます。全国の大学や手話講習会で教科書や教材としても使われています。

#### 聞こえないお子さんのご家族を支援する活動

##### ●ファミリー講座

お子さんが聞こえない、聞こえにくいと診断されたご家族に、医療、育児、教育、生活など、いろいろな分野の情報を提供しています。日本手話やろう文化、バイリンガルろう教育については、他の機関では得られない確かな情報をお伝えしています。ろう者のお母さんに子育ての秘訣を聞くこともできます。

##### ●日本手話教室

聞こえないお子さんと一緒に通うことができるファミリー手話教室です。大半の手話講座や手話サークルは子ども同伴ができません。それは手話を学ぶ目的が違うからです。ファミリー手話教室では、お子さんが教室の中を自由に歩き回っても構いません。なぜなら、この教室で手話を学ぶ目的は「お子さんのため」だからです。ご家族は講座途中の参加も可能です。

聞こえない・聞こえにくいお子さんに関する相談はいつでもお受けします。お気軽にお問い合わせください



#### 村田 絢子さん

（ご主人と男の子の3人家族、デフファミリー）  
私は宮崎出身です。両親は聴者で2歳下の妹はろう者です。今は手話を使っていますが、当時は姉妹の会話も口話を中心でした。幼稚園から高校までは地元の小学校にインテグレーションしました。その頃はわからないことが当たり前でしたが、いろいろな本を読むことで、ぶん救われました。筑波大学附属ろう学校の専攻科に進学すると、聴者の世界しか知らなかった私は、初めてろうの世界と出会いカルチャーショックを受けました。「勉強がわかる」「友達や先生とコミュニケーションができる」など、すべてが新鮮で発見の連続でした。結婚して、ろうっ子の子どもが生まれたときは、とても嬉しかったです。

Q. インテグレーションの成功例とも思われるみなさんが、なぜ、ご自身のお子さんの教育にバイリンガルろう教育を選んだのですか？

森永/私の実家は保育園を経営しています。小さな子どもには十分なコミュニケーションが大切です。ですから手話教育を選びました。また、どんなに発音の訓練をしても社会では通用しないし、聴能訓練も意味がないと私自身の社会経験でわかりましたから。

松尾/私は、「ろうっ子」の息子が生まれたことで、いろいろと考えさせられました。それまでは、仕事もただお給料が入れば良いと。でも、子どもには夢を持って仕事を選んでほしい。ろうっ子としてのアイデンティティを守ってあげたい。そのためには、子どもが100%わかる日本手話の環境と教育が必要。子どもの将来を考えてバイリンガルろう教育を選びました。